

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 5日
 住 所 さいたま市北区奈良町153-12
 県内企業等の名称 株式会社ケーアイ
 代表者役職氏名 代表取締役 熊井戸 純

株式会社ケーアイ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
 取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業以来、空気調和設備・給排水衛生設備に関する事業を行って参りました。新鮮・清潔・安全な空気や水の提供は快適且つ健康的な生活を守り、地球環境を守ることにもつながります。これはSDGsの趣旨と合致するものであり、今後も社員一人一人が安心・安全で心豊かに暮らせる社会づくりを目指すとともに、すべての人々が幸福に暮らせる社会の実現に貢献できるようSDGsの達成に取り組んで参ります。

| 三側面 | SDGs達成に向けた重点的な取組 | 指 標 |
|-----|--|--|
| 環境 | 脱炭素化、エネルギー使用量の削減に向け、環境配慮型車両への入替及び使用電力量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両率:56.5%(13台/23台) ②電力使用量:48,299kwh/年 | <2030年に向けた指標> ① 78%(18台/23台) ② 46,850kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ① 65%(15台/23台) ② 47,333kwh/年 |
| 社会 | 社会貢献活動として赤い羽根募金と事業所周辺の環境美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①赤い羽根募金:0円/年 ②美化活動実施回数:1回/年(のべ5人参加) | <2030年に向けた指標> ① 15,000円/年 ② 3回/年(のべ12人参加) <取組開始3年後に向けた指標> ① 10,000円/年 ② 2回/年(のべ8人参加) |
| 経済 | 社員のワークライフバランス向上の一環として有給休暇平均取得日を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数 10日/年 | <2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年 |

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。